

支出命令書 (一般)

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
**	**	**	**	**				
会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		**	**			**		

起票日	平成 29 年 10 月 18 日	所 属	080100 市議会事務局
年度	平成 29 年度	会 計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		
科 目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	19 負担金、補助及び交付金	
	細 節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金 額	20,000 円	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支 払 回 数	13 回	雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	600,000 円	そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	277,425 円	控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	322,575 円	請求書番号		
源泉支払内容	*****			

件 名	研究研修費 11/9～11/10 沖縄県那覇市 第79回全国都市問題会議参加負担金
-----	---

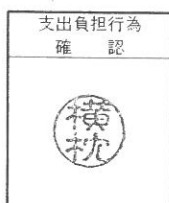
摘 要	
-----	--

債 権 者 等	支 払 方 法	21 現金払	支 払 希 望 日	平成 29 年 10 月 31 日
	住 所			
	名 称	市民トライネット代表者 高橋 登		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人		債 権 者 番 号	0 - 000004459 - 00

領 収 氏 名	住所	市民トライネット代表者 高橋 登	領 収 印	
---------	----	------------------	-------	---

上記の金額を領収しました。平成 29 年 10 月 31 日

支 払 済

平成 年 月 日
泉大津市 会計管理者 あて

001

負担行為番号

29-000153

伝票番号

29-011447

整理番号

29-000004-13

呼出番号



00046418

29 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

会 29.10.19

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成29年 10 月 18 日

泉大津市長
南 出 賢 一 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 市民トライネット
代表者名 高橋 登



政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	20,000円		
内 訳	11/9～11/10 沖縄県那覇市 第79回全国都市問題会議 参加負担金		
支 払 先	(株)JTB 沖縄		
予 算 科 目	研究研修費	交 付 残 額	322,575円
使 用 者 名	高橋 登、野田 悦子		

第79回全国都市問題会議

請求書

受付番号 82- 8

泉大津市

高橋 登 様

株式会社JTB沖縄
那覇市おもろまち4-19-30新都心DLビル
代表取締役社長 杉本 健次

発行日 2017年10月13日

請求番号 126592-002-00159

下記の通りご請求申し上げます。期日までにお支払下さいますようお願いいたします。

請求金額合計(税込) ¥10,000 入金期日:2017年10月31日

お問合せ先
JTBコンベンションサポートセンター
TEL:092-751-2102

担当: [REDACTED]

振込先
銀行名: [REDACTED]
口座番号: [REDACTED]
名義人: [REDACTED]

I沖交流第36号

(ご請求額内訳)					
宿泊代金	-	乗物代金	-	観光代金	-
分科会費	-	懇親会費	-	弁当代金	-
大会参加費	¥10,000	シャトルバス代金	-	事務手数料	-
取消料	-	保険料	-	宿泊費①	-
宿泊費②	-		-	その他	-
(ご入金内訳)					
		お預り金	-	ご返金	-

第79回全国都市問題会議

請求書

受付番号 82- 10

泉大津市

野田 悦子 様

株式会社JTB沖縄
那覇市おもろまち4-19-30新都心DLビル
代表取締役社長 杉本 健次

発行日 2017年10月13日

請求番号 126592-002-00161

下記の通りご請求申し上げます。期日までにお支払下さいますようお願いいたします。

請求金額合計(税込) ¥10,000 入金期日:2017年10月31日

お問合せ先
JTBコンベンションサポートセンター
TEL:092-751-2102

担当: [REDACTED]

振込先
銀行名: [REDACTED]
口座番号: [REDACTED]
名義人: [REDACTED]

I沖交流第36号

(ご請求額内訳)					
宿泊代金	-	乗物代金	-	観光代金	-
分科会費	-	懇親会費	-	弁当代金	-
大会参加費	¥10,000	シャトルバス代金	-	事務手数料	-
取消料	-	保険料	-	宿泊費①	-
宿泊費②	-		-	その他	-
(ご入金内訳)					
		お預り金	-	ご返金	-

会議参加費領収書

高橋 登

様

金 10,000 円

但、「第79回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

平成29年11月9日

第79回全国都市問題会議実行委員会

会 長 城 間 幹 子

会議参加費領収書

野田 悦子

様

金 10,000 円

但、「第79回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

平成29年11月9日

第79回全国都市問題会議実行委員会

会 長 城 間 幹 子

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 **	担当者 	入力 	財政課合議 **	検収者 	

起票日	平成 29 年 10 月 19 日	所 属	080100 市議会事務局
年度	平成 29 年度	会 計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		
科 目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	19 負担金、補助及び交付金	
	細 節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金 額	1,193 円	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認	
支 払 回 数	14 回	雇 用 保 険 料	0 円	源泉徴収確認	
負 担 行 為 額	600,000 円	そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認	
支出命令済額	278,618 円	控 除 額 合 計	0 円	通勤経路及び金額確認	
負担行為残額	321,382 円	請求書番号			
源泉支払内容	*****				

件 名	資料費 平成29年度電子複写機使用料金 (4~9月分)
-----	-----------------------------

摘 要	
-----	--

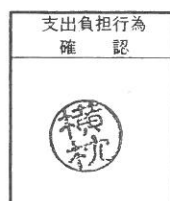
債 権 者 等	支 払 方 法	21 現金払	支 払 希 望 日	平成 29 年 11 月 6 日
	住 所			
	名 称	市民トライネット代表者 高橋 登		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人		債 権 者 番 号	0 - 000004459 - 00

領 収 氏 名	住所	氏 名	市民トライネット代表者 高橋 登	領 収 印	
---------	----	-----	------------------	-------	---

上記の金額を領収しました。平成 29 年 11 月 6 日

支 払 済

平成 年 月 日
泉大津市 会計管理者 あて



伝票番号

29-011498

整理番号

29-000004-14

負担行為番号

29-000153

呼出番号



00046582



29 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

会 29.10.24

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成29年10月19日

泉大津市長
南 出 賢 一 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 市民トライネット

代表者名 高 橋 登



政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	1, 1 9 3 円		
内 訳	平成29年度電子複写機使用料金(4～9月分)		
支 払 先	(株)イノウエ商事		
予 算 科 目	資料費	交 付 残 額	321,382 円
使 用 者 名	市民トライネット		

納品書

市民トライネット

取引先コード	年月日	伝票番号
9999 - 99	29.10.19	671223 - 1

様

より、
(株) **JOINTEX** 商事
代表取締役 佐藤 正 義
〒595-
大阪府東大阪市我孫子2-4-20
TEL 0725-23-1147 (代)
FAX 0725-22-4445

JOINTEXコード/メーカー名	製品品番/品名	数量	単位	単価	金額	備考
*	11 平成29年度電子複写機使用料金(4~9月分)	1,164.00	枚	0.95	1,105	売上
摘要				明細合計	1,105	検 印
				消費税額	88	
				伝票合計	1,193	

請求書

市民トライネット

取引先コード	年月日	伝票番号
9999 - 99	29.10.19	671223 - 1

様

より、
(株) **JOINTEX** 商事
代表取締役 佐藤 正 義
〒595-
大阪府東大阪市我孫子2-4-20
TEL 0725-23-1147 (代)
FAX 0725-22-4445

JOINTEXコード/メーカー名	製品品番/品名	数量	単位	単価	金額	備考
*	11 平成29年度電子複写機使用料金(4~9月分)	1,164.00	枚	0.95	1,105	売上
摘要				明細合計	1,105	検 印
取引銀行				消費税額	88	
				伝票合計	1,193	

領 収 証

No. _____

市民トラスト 様

29年 10月 19日

★ 7,119円

但 20-代

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

大阪府泉大津市我孫子2-4-20

株式会社 イノウエ商事

電話0725-23-1147(代)

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 **	担当者 	入力 	財政課合議 **	検収者 /	

起 票 日	平成 29 年 10 月 24 日	所 属	080100 市議会事務局
年 度	平成 29 年度	会 計	01 一般会計
予 算 区 分	0 現年度		
科 目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事 業	040000 議会調査研究事業	
	節	19 負担金、補助及び交付金	
	細 節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金 額	136,980 円	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認	
支 払 回 数	15 回	雇 用 保 険 料	0 円	源泉徴収確認	
負 担 行 為 額	600,000 円	そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認	
支出命令済額	415,598 円	控 除 額 合 計	0 円	通勤経路及び金額確認	
負担行為残額	184,402 円	請求書番号			
源泉支払内容	*****				

件 名	旅費 11/8~11/10 沖縄県那覇市 第79回全国都市問題会議 参加旅費
-----	--

摘 要	
-----	--

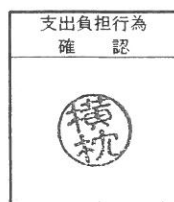
支 払 方 法	21 現金払	支 払 希 望 日	平成 29 年 11 月 7 日
住 所			
名 称	市民トライネット代表者 高橋 登		
役職等/ 氏名			
銀行 / 口座			
口座名義人	債 権 者 番 号	0 - 000004459 - 00	

領 住 所		領 収 印	
氏 名	市民トライネット代表者 高橋 登		

上記の金額を領収しました。平成 29 年 11 月 7 日

支 払 済

平成 年 月 日
泉大津市 会計管理者 あて



001
負担行為番号

29-000153

呼出番号

伝票番号

29-011724

整理番号

29-000004-15



00047314

29 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

29.10.25

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成29年10月28日

泉大津市長
南 出 賢 一 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 市民トラスト
代表者名 高橋 登 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	136,980円		
内 訳	11/8～11/10 沖縄県那覇市 第79回全国都市問題会議 参加旅費		
支 払 先	高橋 登、野田 悦子		
予 算 科 目	旅費	交 付 残 額	184,402円
使 用 者 名	高橋 登、野田 悦子		

平成29年度

出張申請書

(出張)

会派名	市民トライネット		氏名	高橋 登				
出発・帰庁年月日		出発 29年11月8日			帰庁 29年11月10日			
出張先(順路) 沖縄県立武道館(那覇市奥武山町52)								
目的及び用件 第79回全国都市問題会議に参加								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 関西空港	km	円 670	円	円	円	円	円	円 670
" (飛行機) 那覇空港		ANA1737便 (旅割55N) 10,400						10,400
" (ゆいレール) 県庁前		260			1泊 15,000	2日 7,000		22,260
" (ゆいレール) 壺川		230						230
" (ゆいレール) 県庁前		230			1泊 15,000	1日 3,500		18,730
" (ゆいレール) 壺川		230						230
" 那覇空港		会場从那覇空港間は、主催者側が用意したバスを利用する。						0
" (飛行機) 関西空港		JTA008便 (スーパー先得) 15,300						15,300
" (南海本線) 泉大津		670						670
							計	68,490

主管課用

平成29年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	市民トライネット		氏名	高橋 登				
出発・帰庁年月日		出発 29年11月8日		帰庁 29年11月10日				
出張先(順路) 沖縄県立武道館(那覇市奥武山町52)								
目的及び用件 第79回全国都市問題会議に参加								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線)	km	円	円	円	円	円	円	円
関西空港		670						670
" (飛行機)		ANA1737便 (旅割55N)						
那覇空港		10,400						10,400
" (ゆいレール)					1泊	2日		
県庁前		260			15,000	7,000		22,260
" (ゆいレール)								
壺川		230						230
" (ゆいレール)					1泊	1日		
県庁前		230			15,000	3,500		18,730
" (ゆいレール)								
壺川		230						230
" 		会場从那覇空港間は、主催者側が用意したバスを利用する。						0
那覇空港								
" (飛行機)		JTA008便 (スーパー先得)						
関西空港		15,300						15,300
" (南海本線)								
泉大津		670						670
							計	68,490

右の金額領収いたしました。

平成 年 月 日

泉大津市会計管理者 殿

金額

¥ 6 8 4 9 0

職名 市民トライネット

氏名 高橋 登



平成29年度

出張申請書

(出張)

会派名	市民トライネット		氏名	野田 悦子				
出発・帰庁年月日		出発 29年11月8日			帰庁 29年11月10日			
出張先(順路) 沖縄県立武道館(那覇市奥武山町52)								
目的及び用件 第79回全国都市問題会議に参加								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 関西空港	km	円 670	円	円	円	円	円	円 670
" (飛行機) 那覇空港		ANA1737便 (旅割55N) 10,400						10,400
" (ゆいレール) 県庁前		260			1泊 15,000	2日 7,000		22,260
" (ゆいレール) 壺川		230						230
" (ゆいレール) 県庁前		230			1泊 15,000	1日 3,500		18,730
" (ゆいレール) 壺川		230						230
" 那覇空港		会場从那覇空港間は、主催者側が用意したバスを利用する。						0
" (飛行機) 関西空港		JTA008便 (スーパー先得) 15,300						15,300
" (南海本線) 泉大津		670						670
							計	68,490

主管課用

平成29年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	市民トライネット		氏名	野田 悦子				
出発・帰庁年月日		出発 29年11月8日		帰庁 29年11月10日				
出張先(順路) 沖縄県立武道館(那覇市奥武山町52)								
目的及び用件 第79回全国都市問題会議に参加								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 関西空港	km	円 670	円	円	円	円	円	円 670
" (飛行機) 那覇空港		ANA1737便 (旅割55N) 10,400						10,400
" (ゆいレール) 県庁前		260			1泊 15,000	2日 7,000		22,260
" (ゆいレール) 壺川		230						230
" (ゆいレール) 県庁前		230			1泊 15,000	1日 3,500		18,730
" (ゆいレール) 壺川		230						230
" 那覇空港		会場从那覇空港間は、主催者側が用意したバスを利用する。						0
" (飛行機) 関西空港		JTA008便 (スーパー先得) 15,300						15,300
" (南海本線) 泉大津		670						670
							計	68,490
右の金額領収いたしました。					金額	¥ 6 8 4 9 0		
平成 年 月 日					職名	市民トライネット		
泉大津市会計管理者 殿					氏名	野田 悦子		
								

□決 裁

■ 供 覧

受 発 記 号 ・ 番 号		収受年月日		平成29年12月15日	
差 出 名		市民トライネット 高橋 登 ・ 野田 悦子			
あ て 名		泉大津市議会議長		提出期限	
収 受 文 書 の 記 号		収受文書の日付		平成29年12月15日	
件 名		報告書			
議長		副議長		事務局長	
次長					
					
主 次長補佐		議事調査係長		庶務係長	
係員					
					
管					
					
合 議					
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項					
日 時 : 平成29年11月8日(水)～10日(金)					
出張先 : 沖縄県那覇市 (沖縄県立武道館)					
目 的 : 第79回全国都市問題会議参加					

報 告 書

会派代表者

高橋 登

平成29年12月15日

泉大津市議会議長 殿

市民トライネット

出張者 高橋 登

野田 悦子



下記により出張したので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時：平成29年11月8日（水）～11月10日（金）
2. 出張先：沖縄県那覇市（沖縄県立武道館）
3. 目 的：毎年全国の都市部開催されている「全国都市問題会議」本年は、第79回を迎え沖縄県那覇市での開催となったが、近年の都市が抱える問題と課題、さらには都市の再生と新しいテーマを地域で掘り起こしていく等の視座を勉強させて頂き、本市のまちづくり政策に生かすしたい。

4. 報告内容

今年の全国都市問題会議は、11月9日、10日の両日に亘り、沖縄県那覇市の沖縄県立武道館を会場にして開催された。

開場が沖縄県で開会時間が、9日9時30分からということもあって、前泊で8日午後3時過ぎ関西新空港発の飛行機での出立つとなった。

宿泊ホテルからタクシーを乗り合わせて会場まで10分、沖縄県武道館に参集した全国の自治体議員、首長及び関係者合わせて2400人で埋め尽くされていた。全国市長会会長の松浦正人氏の開会あいさつの後、「ハイサーイ」の挨拶で始まった開催地那覇市長である城間幹子氏は、第79回を迎える都市問題会議が初めて沖縄で開催されることを歓迎するとともに沖縄の歴史と文化を守りながらまちづくりを進めてきた実績を紹介して開催地の挨拶とした。さらに公務で出席できなかった翁長雄志沖縄県知事に替わり歓迎メッセージが副知事によって読み上げられた後、「多様性のある江戸時代の都市」と題して、山本博文氏（東京大学史料編纂所教授）から基調講演が行われた。

巨大都市と多様な町の原型は、江戸時代に形成され発展したことを具体的事例を紹介しながら説明された。特に江戸、京都、大坂は、三都と称され、100万都市を形成し、城下町、宿場町、門前町、港町として発展した。大坂は「天下の台所」と称され、諸国の年貢米が集まり、堂島のコメ市場では世界初とされる先物取引が行われたという、西郷隆盛は、篤姫のために京都で着物をあつらえたなどのエピソードも紹介しながら城下町が発展してきた経緯を解説して頂いた。また、参勤交代制度が街道を整備させ宿場町を発展させただけでなく伊勢参りや善光寺や金毘羅宮などの観光地ができることで人の移動が活発になり、参拝客を迎えるための門前町も急激に発展していく過程が説明されるとともに蝦夷地の海産物を運ぶための北前船は、全国各地の特産物を運ぶ港の発展に大きく貢献することになる等、現在のまちの原型を形成する多様な性格を持つ町が相互に影響し合って発展したのが江戸時代の特徴と言えると解説。

町の発展は、ひとの移動と同時に文化や情報も先進的な大都市から地方都市にもたらされることにより発展するものであり、現在に続く町づくりの形をつくってきたと結んだ。

続いて、開催市の挨拶をした城間那覇市長から、ひと つなぐ まち—新しい風をつかむまちづくり—をテーマに主報告を受けた。まず、那覇市は、沖縄本島の南部西海岸に位置し古くから東南アジアの各都市を結ぶ交通の要衝地点として発展してきた歴史を紹介した上で人口密度は、8,072 人/k m²で、都道府県庁所在地では東京新宿区、大阪市、横浜市に次いで 4 番目に高い都市となっており、アジアとの商業貿易拠点として注目を集めているとの事であった。「ひとのつながり」を大切にする文化と歴史を発信しながら世界とつながってきた。那覇市の今後の課題は、急増する外国人観光客を迎える体制づくりと第一牧志公設市場の建て替え、農連市場地区の再開発新文化芸術発信拠点施設の建設等環境産業のさらなる育成の取り組み、福祉面では、子どもの貧困率が 29.9%と言われる対策、健康寿命の延伸に向けての取り組みとこれらの課題をいかに解決していく為の新たな地域リーダーの発掘と要請、新しい風を生み出す人材育成に積極的に取り組んでいることが報告された。

昼休憩時には、会場舞台で歓迎アトラクションとして現代版組踊りが披露され会場を沸かせた。

午後の部は、1 時過ぎから始まり三つの一般報告が行われた。まず、山下祐介氏（首都大学東京大学院人文科学研究科准教授）は、人口減少社会の実像と都市自治体の役割—人口とインフラの適正な持続的配置はいかに可能か？—とのテーマで講演された。国家と地域の関係、都市とまち、村の関係等を解説した上で都市に人々が集中してきた歴史を分析、その中で近代都市は、人々の暮らしのバランスを欠き、子育てのしにくい環境と仕事中心の働き

方や働き方を優先した都市の社会構成をつくってきた。さらには都市化が進めば進むほど経済効率性は高まるが、暮らしの効率は低まるというジレンマに陥っていると解説。東京一極集中は、権力の集中であり、金と人の集中を生んでいるこの弊害を止めるには地方分権以外にはないと言い切った。地域の創生は地域の資源を見直し、生かしていく工夫と適切に財を分配し、全体を調整する人口ビジョンの考え方と総合戦略のあり方が問われていると述べた。さらに、都市化が過剰な依存化を生み出していることを指摘した上で、よい依存と悪い依存の見分け方がリスク社会からリスクに対応できる社会を経て、安定持続社会へ向かっていける展望が開けると解説、要はやるべきことは、集中から分散へ。論理の再転換をはかることであると結んだ。

小休憩を挟んで演壇に立った北海道釧路市長の蝦名大也氏は「自然と都市が融合し共生が地域の価値を高めるまちづくり」テーマで講演頂いた。

冒頭現在の地方分権と地方自治は、地方の特性を生かせるシステムになっていないと苦言を呈した上で、平成の大合併は失敗であったと酷評し切り捨てた。蝦名氏が市長になってから観光立国ショーケース・国立公園満喫プロジェクトの立ち上げ、観光を産業として位置付けて取り組んでおり、地産地消を基本に地域でお金のまわるシステムを確立しながら 250 億円の経済波及効果を生み出しており、地元価値の比率を高めている。さらには、北海道の自然豊かな価値を積極的に発信し他では、体験できないものを（アイヌ部落の歴史など）紹介するなど道外から評価を受けることが多くなっているなどの実績を強調された。現在「釧路市まちづくり基本構想」を策定中であり、人材育成をベースにして教育、福祉、文化のまちづくりを打ち出していると結んだ。

一般報告の最後に登壇した琉球大学観光産業科学部長・教授の下地芳郎氏は「新たなステージに入った沖縄観光―複合的な魅力を有するハイブリットリゾート―」とのテーマで講演をいただいた。

はじめに沖縄県の人口 144 万人中、那覇市 32 万 3 千人、宜野湾市 8 万 8 千人、名護市 5 万 8 千人で一日あたりの観光客が 8 万人、年間 800 万人超の観光客が沖縄を訪れると観光立県沖縄を紹介した。さらに沖縄は、日本一大きな県であり地理的には、本土で言うと神奈川県から長崎県までの距離になるという解説には沖縄を改めて認識させられた思いであった。

沖縄観光の歴史は、昭和 12 年に大阪から那覇市を訪れる団体旅行が 6 泊 7 日で始めて実施されたが、昭和 16 年には戦争の影響で中止されたという。その後沖縄は、数奇な運命を経ながら現在に至っているが、観光客は、877 万人（うち外国人 213 万人）となり、過去最高を記録している。米軍基地に関連する県民所得は、5.7%を占めるが、昨年度の観光収入 6.603 億円であり、県内総生産量約 4 兆円であることを見ても沖縄経済を支える観光産業の期待は大きいと解説

された。今後の沖縄の発展に関しては、①那覇空港ターミナルビルの新設、港湾機能強化や那覇愚行地域周辺を含んだ跡地利用計画等のインフラの整備。②サービスの質の向上③観光地経営の向上策など基地経済に頼らない自立した沖縄経済を確立していく事が課題であるが、着々と達成しつつあると力強く報告されていた。以上第1日目の研修日程を終え、ホテルに戻り2日目に備えさせて頂いた。

2日目は朝にホテルをチェックアウトし、会場へ向かった。午前中はテーマが『ひとがつなぐ都市の魅力と地域の創生戦略—新しい風をつかむまちづくり—』のパネルディスカッションが行われた。コーディネーターは後藤晴彦氏（早稲田大学理工学術院教授）、パネリストに能作克治氏（㈱能作代表取締役社長）、藤田とし子氏（まちとひと感動のデザイン研究所代表）、平田大一氏（沖縄文化芸術振興アドバイザー）、山岸正裕氏（福井県勝山市長）、染谷絹代氏（静岡県島田市長）の6名である。

最初に、後藤氏よりテーマ説明がなされた。都市の豊かさが経済成長と一致するわけではなく多様性を認め、価値観の共有から持続可能な豊かな街づくりができるのではないかと。それは、20世紀の仕様では＜分ける⇒効率化＞として、効率化こそ正である、効率化することが街の発展につながるかのようなやり方が広く浸透した。しかし、このまま押し進めても、大きく変化した現在には無理が生じる。21世紀の仕様を考えるべきであるならば、21世紀は分断から＜分かち合う＞社会への仕組みの構築・仕様書こそ、都市の豊かさにつながるとし、その中に地域の—新しい風—とは何か、風をつかみ創生戦略へどうつなげていけるかを議論する。

一人目のパネリスト能作氏は富山県で鋳物工場を営む会社の社長であり鋳物職人でもある。実際の産業（鋳物工場）を見学してもらう事で伝わる音や熱、職人の技が地域の人々の興味を興し、特に力を入れている子どもたちへの伝統工芸の素晴らしさを伝える授業「ものづくり・デザイン科」が今年で12年を迎え、新たな人材へと結びついた。各地の産業が守りの姿勢で疲弊していく中で、民芸から観光産業への転換を官民一体で進めることが、伝統工芸の枠を押し広げていくことにつながる。今はもっと多くの人に見てもらえるように新社屋を建て、同じオフィスパーク内の行政機関とも連携して、互いに紹介し合える環境を整備し、こちらは新たな企業の進出の相談を受けている。地方創生は続けること、意識改革、観光客の増加、産業観光の充実、地域経済の向上・活性化と好循環をいかに生み出すことではないか。日本の伝統文化、伝統工芸に携わっておられるから出る「日本愛」溢れる発表であった。

二人目の藤田とし子氏は千葉県柏市の「かしわインフォメーションセンター」

の事務局長に抜擢されてから、人とのつながりで少しずつ、でも大きく変化していった「まちづくり」についてを紹介された。

当初、地域の新聞記者でまったくまちづくりにも関わったことのない氏が、地元商店街や百貨店、大型店事業者、大学関係、商工会議所と市のバックアップの元、喧々諤々ヒートアップしそうな中から生まれた「まちづくりのプラットフォーム」。加えて高校生から 70 代までの街案内のボランティアさん 100 名の 200 の目による、それぞれの柏市に住んで居るから知っている「とっておき」、「秘密の裏情報」からなるマップ作りは個々が思い入れ強く文章作成からマップ起しをし、各年代層の熱烈な支持と共感につながりまち案内にも力が入り、来た人を引き付けるマップとなった。この作業はいろいろな人の手に因る為、行政の視点とは違う魅力と問題の浮上につながった。行政の立派な政策・計画は上から降ってくる。降ってきた事業に行政も右往左往するばかりになる。事業の成功には地域での空間、時間、人間関係の三つのマップが関係する。『場』と『仕掛け』づくりが大切であると実感した。その後、和歌山県田辺市のまちづくりにも携わり、関わった人がまず変化していくことで驚くような結果につながっていく様も経験した。どのまちでも、継続可能な地域創生には自分ゴトとして取り組む地元の「人おこし」が何より大切であると感じていると締めくくられた。行政のつくるウワベのキレイなマップでは伝わらない熱が人を感動させ人を呼ぶのだと実感した。

三人目の沖縄文化芸術振興アドバイザー平田大一氏は、資料の肩書では何をする、している人なのかとわかりづらいが、戻って調べてみると、2011年に二期目の仲井眞沖縄県知事に異例の大抜擢として、新たにできた「文化観光スポーツ部」初代部長へ民間起用としての依頼を若干42歳で受ける前から、うるま市公共文化ホール「きむたかホール」初代館長に32歳で就任や、その4年後には初代「那覇市芸術監督」に就任するなどの目を引く業績が並んでいる。そして現在、沖縄を表現する、沖縄を知る上でのキーパーソンであり、『感動立県おきなわ！を目指して』の表題通りの発表内容であった。

内容は、受けてから組織表を見て気付いた大役であるにもかかわらず、物おじせずあくまで前向きに＜県外から最も話を聞きたい部長ナンバー1を目指す一行動する部長＞になるのだと、枠にはまるのではなく自身のフィールドである演出作業に業務を落とし込んでいったというものであった。例えば、台本は計画、配役は人事、規模は予算というように置き換えて考え、配役（人事）のキャスティングポイントは自身もそうであるように実績ではなく期待感、後は演出の腕の見せどころなどである。最後に他府県でも置き換えて考えられ沖縄では「文化をおやつではなく主食として考える」では他は何を主食として考えて感動を産業に出来るのか知恵を絞ることだと締めくくっていた。

四人目に福井県勝山市長で 2000 年の就任から 5 選目を果たされた山岸氏がパネリストとして立たれた。勝山市は福井県の中でも北東部に位置し、石川県の県境の市である。長く市長を務めて来られたからこそ出来るつながりのある事業展開が語られた。

勝山市は昭和 63 年に肉食恐竜の歯が発見され現在まで発掘、調査、研究が行われている。就任直後から「ふるさとルネッサンス」を理念に具体的事業として「エコミュージアム（地域全体を博物館としてとらえる考え方）」を中心に据え、市の再生に取り組んでこられたこれまでを紹介された。「わがまちげんき事業」→「わがまちげんき発掘事業」、「わがまち魅力事業」→「わがまち魅力発酵事業」「わがまち魅力発散事業」と続く 16 年の事業階下の中で「エコミュージアム」から「恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク（大地の公園）」へと発展させてきた。これを小中教育へ取り入れ、ふるさとに愛着を持つ次世代の育成まで進め、ますますキラリと光るまちづくりにとの思いをお聞きした。

本市にも、これがあるから泉大津市を出ないというつながりがあるのだから、一部のコアに関わる人だけのモノではない『まつり』にするなどの市域全体を巻き込んだ施策が可能ではないかと思わせていただいた。

最後、五人目は静岡県島田市の女性市長、染谷絹代氏であった。島田市は南アルプスを北に、南に大井川の扇状地と牧之原台地が広がり、古くから交通の要所であったところに現在は東名高速に新東名高速、富士山静岡空港が出来、様々な文化や情報が今も行きかっている。しかし、二市一町が合併して一時期は 10 万人を超したものの、人口減少は国の発表より 10 年程早く起き、同時に年少人口と高齢人口の比率も逆転し、このままでは 2060 年には人口は 6 万人程度まで減少、高齢化率は 38.9% と推計されるに至り、H27 年に「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。H28 年度には転入者数が静岡県内 2 位にまで成果が表れた。

取り組みは市民との協働・連携で市長が一年半かけて全自治会と車座トークを開催。『まちづくりの担い手・主役は市民であり、ともに協働し支援するのが行政の役目。市民が真に求めるものを、市民とともに創り上げていく。それが市民の満足度、幸福感を高め、結果としてまちの魅力を高めるだけでなく人を育て、人が育つまちづくりから持続可能な発展を産む』この考えに至ったことが急に上向きに変換したすべてではないだろうか。実際の取り組みとして①市民参加型シティプロモーション「島田市緑茶化計画」、②地域の魅力創出③イベントへの 2 千人を超すボランティアでの「島田型おもてなし」などを挙げておられた。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にしても、市民との協働・連携にしてもどこの町市でも策定し、掲げているのではないだろうか。なのに、なぜ島田

市だけが計画から一年で結果に至ったのか。それは、カユイところに手が届く行政の施策だからではないだろうか。

それぞれの発表の後で多くの討論が行われ、どれもより深く施策や考え方を知るヒントになった。一つずつを本市ではと考えさせられるパネルディスカッションであった。

5、行政視察

2日目午前中の研修日程を終え、午後からは行政視察として、AコースからFコースまでの6コースが組まれており、私は、A：世界遺産・首里城まちまーいコースに参加させて頂いた。

首里城までは、バスで移動、小雨がぱらつく天候であったが壮大な首里城は、その歴史と文化を漂わせていた。沖縄文化に接してこなかった私からは、まさに異文化を感じさせるとともに琉球王朝時代は、中国の王が琉球王を任命していたという史実に、中国の一部に沖縄を中国領土と主張する根拠になっているのかと感じさせるほどであった。それにしても平日でありながら、かつ小雨が降る天候にもかかわらず、観光客の多いことには驚かされた。まさに沖縄の観光資源の豊富さ、諸外国との平和的な交易で発展してきた歴史と文化を肌身で感じさせてくれる視察であった。

高橋議員と別れ、私はFコース「旧海軍司令部豪と沖縄空手会館を巡るコース」へ参加させて頂いた。

バスに乗り昼食後、那覇空港南東の豊見城市の旧海軍司令部豪跡へ向かいしました。一昨年、名護市の豪の跡地や日本軍砲台跡から米軍基地、辺野古、高江を廻りました。その時は丘の中腹に幾つもの横穴から奥へと続く様子を、豪の外から柵越しに見、説明文を読むだけでした。今回、整備され豪の内部も公開され併設された資料館では簡単な説明も受けられる状態で、見学に入った豪は、回廊のように張り巡らされた通路に大小幾つもの窪みが造られ、その窪みそれぞれに役割があり、司令官・将校・兵士の部屋、作戦本部、自決した部屋、床に寝かせ切れずに通路にも溢れていた医療の部屋（本間でなら3畳程）など、各場所ごとにパネルで当時の状況が説明されている為に、爆撃の音の中を走り回って伝令を伝えたであろう様子、米軍の上陸から二ヶ月弱の間、日々悪くなる戦況、海も空も制圧された状態で沖縄では玉砕しかないのではと悟りつつ過ごしたのではないかと、ありありと想像出来ることが苦しかった。

確かにここに、日本で唯一の地上戦があった。両親世代の子どもの頃、歴史とは言えないほどの年月しか経っていない。多くの民間人が爆撃で自決で亡くなった。その後も米軍の占領下で、今も走っても走っても続くフェンスに囲まれた米軍基地の存在による危険と隣り合わせの生活。

米軍本島上陸の2ヶ月前に就任した海軍沖縄方面根拠地隊大田司令官が、他の将校と自決の一週間前に本土に一本の電報を打っている。(以下抜粋)

— 陸海軍が沖縄にやってきて以来、県民は最初から最後まで勤労奉仕や物資の節約をしいられ、ご奉公をするのだという一念を胸に抱きながら、ついに報われることもなく、この戦闘の最期を迎えてしまいました。

沖縄の実績は言葉では形容のしようありません。一本の木、一本の草さえすべてが焼けてしまい、食べ物も6月一杯を支えるだけということです。

沖縄県民はこのように戦いました。県民に対して後世特別のご配慮をして下さいますように。(この電文は原文を現代文に直したもの) —

多分、自身を含む幕僚たちは生きて帰ることはないという覚悟をし、最後にこの電報に託した思いを、その後の私たちは、日本は受け取れていたいと思う。今一度、深く考えさせられた。

あと一カ所は沖縄空手会館を見学した。今年の3月にオープンしたばかりの新しい真っ白で大きな会館と、生け垣と芝生の緑、空と海の青、その中にシンボル施設として真赤な特別道場。沖縄の方にとっての空手がどういうものかが、歴史から実際の鍛錬の道具に至るまでの展示や、材料にまでこだわった施設の内外から熱く伝わってきた。

所見

私にとっては、2回目の沖縄訪問であったが、まさに沖縄は研修視察ではなくゆっくりと沖縄の歴史と文化を感じる旅にしたいものである。それほど沖縄には、学ぶことが多い都市であると感じさせて頂いた2日間であった。

会場が、沖縄武道館と言うこともあって、マイクなどの音響状態が悪く折角の各講師陣の講演も一部聞き取りにくかったことが少し残念でもあったが、2400人以上の人を収容する施設は、そんなにもなく主催者のご苦勞も窺い知れる。いずれにしても沖縄県の今日的最大の課題でもあり、基地問題に象徴される国家と地方の関係について、あるいは地方自治のあり方についての問題提起がいずれの視点からもなかったことは、全国都市問題会議のもつ限界であるかもしれないことを感じさせて頂いた視察でもあった。〈高橋〉

私も二度目の沖縄だったが、二度とも戦時中を思い体感する訪問となった。唯一、視察で訪れた空手会館や、ホテル回りのお土産物屋さん、沖縄時間が流れている夕食会場でのふれあいが、人懐っこい沖縄の今を感じれる少ない時間ということが少し残念でもあるが、内容の濃い充実した二日間だったことは確かである。後はそれをちゃんと咀嚼して、活かせるかどうかであり、自分次第であると肝に銘じて報告を終わりたい。〈野田〉

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 **	担当者 	入力 	財政課合議 **	検収者	

起票日	平成 29 年 10 月 27 日	所 属	080100 市議会事務局
年度	平成 29 年度	会 計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		
科 目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	19 負担金、補助及び交付金	
	細 節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金 額	16,500 円	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支 払 回 数	16 回	雇 用 保 険 料	0 円	源泉徴収確認
負 担 行 為 額	600,000 円	そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	432,098 円	控 除 額 合 計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	167,902 円	請求書番号		
源泉支払内容	*****			

件 名	研究研修費 11/15～11/16姫路市 第12回全国市議会議長会研究フォーラム参加負担金及び視察参加負担金
-----	--

摘 要	
-----	--

支 払 方 法	21 現金払	支 払 希 望 日	平成 29 年 11 月 9 日
住 所			
名 称	市民トライネット代表者 高橋 登		
役職等/氏名			
銀行/口座			
口座名義人		債 権 者 番 号	0 - 000004459 - 00

領 住 所		領 収 印	
氏 名	市民トライネット代表者 高橋 登		

上記の金額を領収しました。平成 29 年 11 月 9 日

支 払 済

平成 29 年 11 月 9 日
泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認


伝票番号
29-011857
整理番号
29-000004-16

負担行為番号
29-000153
呼出番号



29 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

29.10.27

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成29年10月27日

泉大津市長
南 出 賢 一 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 市民トライネット
代表者名 高橋 登



政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	16,500円		
内 訳	11/15～11/16 姫路市 第12回全国市議会議長会研究フォーラム参加負担金及び視察参加負担金		
支 払 先	(株)JTB 西日本		
予 算 科 目	研究研修費	交 付 残 額	167,902円
使 用 者 名	野田 悦子		

請求書

泉大津市議会

野田 悦子様

【第12回全国市議会議長会研究フォーラム in 姫路】

請求書番号： 2017-1797-03466

請求書発行日： 2017年10月17日



感動のそばに、いつも。

株式会社 J T B 西日本

M I C E 事業部

〒541-0058

大阪市中央区南久宝寺町3丁目1番8号

M P R 本町ビル7階

事業部長：田中 好明

毎度、当社をご利用くださいます、誠にありがとうございます。

このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

11月9日 までに、お支払いくださいますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

¥16,500*

番号	品名	金額	備考
1	フォーラム参加負担金	¥7,000	
	視察負担金	¥9,500	
	※振込の際は備考の個人受付番号を必ずご入力下さい。		個人受付番号：83-6
合計		¥16,500	
振込先		【お問合せ先】 株式会社 J T B 西日本 MICE事業部 T E L：06-6252-5044 担当者名：	
振込手数料は、お客様負担でお願い致します。			

第12回全国市議会議長会研究フォーラム in 姫路

発行年月日 2017年10月23日

泉大津市議会
野田 悦子 様

個人受付番号: 83-6

手配内容確認書

今回お申込みを承り、お手配させていただいている内容は以下のとおりです。

●フォーラム

開催日	参加会場	参加代金
11/15(水)・16(木)	メイン会場(大ホール)	¥7,000

●宿泊プラン

ご利用日	地区	宿泊施設名	お部屋タイプ	ご旅行代金
11/14(火)	-	お申込みはありません。	-	-
11/15(水)	-	お申込みはありません。	-	-
11/16(木)	-	お申込みはありません。	-	-

食事条件	ホテル情報

●視察プラン

ご利用日	コース名	ご旅行代金
11/16(木)	【D】姫路市・宍粟市／観光及び防災に関する広域連携事例視察	¥9,500

●JR券

ご利用日	区間	ご旅行代金
		¥0
		¥0

※宿泊施設の詳細、及び視察コースの詳細及び行程は同封の「参加のご案内」をご参照ください。

※この書面は、宿泊施設でのチェックインの際にフロントにご提示ください。また、視察コース参加の際には、JTB係員にご提示くださるようお願い申し上げます。

※JR券をお申込みの方は、同封のJR券を事前にご確認ください。尚、列車時刻の変更等が発生する場合は、「みどりの窓口」にてお手続きを行っていただきますようお願い申し上げます。

◇第2次回答書面についてのお問合せ先◇
株式会社JTB西日本 MICE事業部 担当: XXXXXXXXXX
TEL: 06-6252-5044 FAX: 06-7657-8412
MAIL: shigikai2017himeji@west.jtb.jp
営業時間: 09:30~17:30 (土・日・祝日 休業)

第12回全国市議会議長会研究フォーラム in 姫路

平成29年11月15日

泉大津市議会 野田 悦子様

参加費領収書

第12回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 山田

東京都千代田区平河町2-4-2

金 7,000 円

第12回全国市議会議長会研究フォーラム in 姫路の参加費として

平成29年11月15日・16日開催（姫路市）

領収証 RECEIPT

泉大津市議会
野田 悦子 様

下記の金額正に領収いたしました。

¥9,500*

但し 第12回全国市議会議長会研究フォーラム
視察参加負担金として

11月10日、銀行振込にて入金

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

西日本総財第R16-0001H号



株式会社JTB西日本
JTB Western Japan, Corp.

No. 2017-1797-03796

株式会社JTB西日本
MI・CE事業部
大阪市中央区南久宝寺町3丁目1番8号
MPR本町ビル7階 〒541-0058

発行日：平成29年11月22日

出納責任者	取扱者
	